

邪馬台国と卑弥呼の謎に迫る 『秋の 歴史文化教室』 12月4日(土)

主催 乙訓の文化遺産を守る会



昨年発掘された「^{まさむく}纏向遺跡」からは、東西に整然と並ぶ大型建物群が発見され大きな話題になりました。そして纏向遺跡のすぐ横には「唐古・鍵遺跡」があり、30万平方メートルのこの遺跡からは各地で作られた土器や翡翠などが大量に発見されています。もし纏向遺跡が卑弥呼が鬼道を使って治めた宮殿であり、唐古・鍵遺跡が魏志に7万戸と記された邪馬台国であれば、250年続いた大和か北九州かの邪馬台国論争に終止符が打たれるかもしれません。その話題の「唐古・鍵遺跡」を訪ねて、実際に発掘に携われた藤田三郎氏からお話をお伺いします。

<u>日 時</u>	12月4日(土) 8時30分 (雨天決行)
<u>集合場所</u>	JR向日町駅
<u>持ち物</u>	各自昼食(雨具)
<u>費用</u>	資料代300円(会員は無料、他に往復交通費1,600円、入館料300円)

<スケジュール>

JR向日町駅発(8:50)→JR京都→近鉄京都(9:10 橿原神宮行)→田原本(10:10)
→徒歩→「唐古・鍵遺跡ミュージアム」見学・講義→昼食(11:30~12:30)→「唐古・
鍵遺跡」見学→田原本町の文化財見学→田原本駅→近鉄京都駅・解散(17時予定)



唐古・鍵遺跡ミュージアム



復元された楼閣

- 申 込
- ① 「乙訓の文化遺産を守る会」のホームページ (<http://otubun.org>) からメールをお送りください
 - ② お電話(075 933 8790 坂下) 下さい
 - ③ 申込みいただかなくても当日集合場所にお越しいただいても結構です

「乙訓の文化遺産を守る会」 京都府向日市上植野町地後 10-12 (坂下勝美宅)